

| NO  | 書名                      | 巻次/副書名               | 著者名                | 出版年    | 出版社       | 内容                                                                                                                                                                                        | 現在場所  | 請求記号  | 備考                      |
|-----|-------------------------|----------------------|--------------------|--------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------------------------|
| 125 | 「生存」の東北史 歴史から問う<br>3・11 |                      | 大門 正克 // [ほか]<br>編 | 2013.5 | 大月書店      | 災害と開発、差別と後進のもとにおかれたがゆえに、近現代「東北」では、医療など「生存」の足場を創る試みがなされてきた。その歴史的蓄積を掘り起こし、3.11後の現在と往還する。2012年開催の歴史講座の成果を収録。                                                                                 | 一般・歴史 | 212 七 |                         |
| 124 | いくまさ鉄平紙芝居一覧             |                      | まち物語制作委員会          | 2020.1 | まち物語制作委員会 | 紙芝居作家いくまさ鉄平が、東日本大震災の復興、心の支援として制作した紙芝居165本、広島町の町づくりにおいて制作した紙芝居の一覧。<br>p5に東北まち物語(震災関係)紙芝居として、新地町のお話「命の次に大切なもの」、「豆名月」の記載あり。p11~12に東北まち物語(民話・昔話)紙芝居として、新地町のお話「姫君と名馬」、「あんこ地蔵」、「鹿狼山と手長明神」の記載あり。 | 郷土資料  | 369 イ |                         |
| 123 | 朝日館女将の7DAYS             | 東北まち物語100<br>本プロジェクト | いくまさ鉄平: 絵          | 2021.6 | まち物語制作委員会 | 東日本大震災時の朝日館女将の7日間の実体験を紙芝居にしたものを冊子化。(※紙芝居は個人所有)「朝日館女将の7DAYS」の紙芝居データ。                                                                                                                       | 郷土資料  | 369 イ | 付属資料<br>DVD(PDF<br>データ) |
| 122 | 無念 浪江町消防団物語             | ふくしま絵うた本プロジェクト       | いくまさ鉄平: 文・絵        | 2021.6 | まち物語制作委員会 | 地震、津波により壊滅状態となった浪江町の請戸地区。そこには助けを求める命があった。余震、津波の恐れがある中、消防団は翌朝救助に来ることを約束し、一旦撤収したが、原発事故が発生し…助けられた命があることを知りながら避難を余儀なくされた無念は何年経っても消えない。                                                        | 郷土資料  | 369 イ | 付属資料<br>DVD             |
| 121 | 浪江ちち牛物語                 | ふくしま絵うた本プロジェクト       | いくまさ鉄平: 文・絵        | 2021.6 | まち物語制作委員会 | 原発事故により汚染された福島の牛たちに下った殺処分命令。安楽死させられた牛の数は3000頭を超える。人に運命を握られる牛たち、機械的に処分をされたと捉える人も多い。しかし、そこには精神を病むほど悩み苦しむ酪農家があった。牛目線で酪農家の悲しみを伝える。                                                            | 郷土資料  | 369 イ | 付属資料<br>DVD             |
| 120 | 私は帰らない なみえ母娘避難物語        | ふくしま絵うた本プロジェクト       | いくまさ鉄平: 文・絵        | 2021.6 | まち物語制作委員会 | 介護施設に勤務しはじめたばかりの娘は懸命にお年寄りの世話をし救助を待っていた。慣れぬ仕事と重労働に娘は倒れる。命の危険が迫る中、「私は帰らない」と言い張る娘を想い、母は施設長に「私の代わりに抱きしめてほしい」と頼む。                                                                              | 郷土資料  | 369 イ | 付属資料<br>DVD             |
| 119 | 見えない雲の下で                | ふくしま絵うた本プロジェクト       | いくまさ鉄平: 文・絵        | 2021.6 | まち物語制作委員会 | 3月11日以降始まった避難生活。震災前、浪江町で民話の語り部活動をしていた佐々木ヤス子さんは桑折町の避難所にいた。佐々木さんは避難を綴った随筆「恐ろしい放射能の下で」を自費出版し、避難所で出会う人に配布していた。その本を元にしたいくまさ鉄平初の震災紙芝居。                                                          | 郷土資料  | 369 イ | 付属資料<br>DVD             |
| 118 | 命のおにぎり 東日本大震災避難生活物語     | ふくしま絵うた本プロジェクト       | いくまさ鉄平: 文・絵        | 2021.6 | まち物語制作委員会 | 避難生活が続く2014年の新春、東北を襲った突如の大雪。あまりの豪雪に車は立ち往生。閉じ込められて数日、ドライブに命の危険が迫る中、立ち上がったのは道路沿いの仮設住宅に暮らす飯館村の避難者だった。小学校の教科書でも紹介されたエピソード。                                                                    | 郷土資料  | 369 イ | 付属資料<br>DVD             |

|     |                     |                        |                             |        |               |                                                                                                                                  |       |       |             |
|-----|---------------------|------------------------|-----------------------------|--------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------------|
| 117 | 大好きな人 東日本大震災せんせい奮闘記 | ふくしま絵うた本プロジェクト         | いくまさ鉄平:文・絵                  | 2021.6 | まち物語制作委員会     | 翌年には新校舎への移転がきまっていた築50年の小学校。そこに起こった地震。天井が落ちる校舎から子どもを逃がす教師。避難した校庭には雪交じりの寒風がふき、教師たちはビニールシートを掲げ子どもたちを寒さから守る…震災時における学校の先生のがんばりを伝える物語。 | 郷土資料  | 369 イ | 付属資料<br>DVD |
| 116 | 福島環境再生100人の記憶       |                        | 環境省環境再生・資源循環局／編著            | 2021.3 | 環境省環境再生・資源循環局 | 震災から10年、100人の証言で綴る福島のこれまでとこれから…。震災を体験し、復興へ向け奮闘を続ける百人百様の記憶とこれからへの思いを語る「記憶編」、環境省がこの10年取り組んできたこと「資料編」。                              | 一般・社会 | 369 カ |             |
| 115 | 絆                   | 津波からいのちを守るために          | 国際津波 沿岸防災技術啓発事業組織委員会 // 編   | 2021.3 | ウェイツ          | いかにして津波からいのちを守るのか。津波・防災の研究者をはじめとする50人超の執筆者たちが、様々な事例や体験、科学的知見等に基づき、自助・共助・公助の観点から、今後の津波防災・減災についてメッセージを伝える。                         | 一般・社会 | 369 キ |             |
| 114 | クライシスマネジメントの本質      | 本質行動学による3・11大川小学校事故の研究 | 西條 剛央 // 著                  | 2021.2 | 山川出版社         | 東日本大震災で多くの犠牲を出した大川小学校。なぜ学校管理下で「戦後最大の悲劇」が起きたのか。震災直後からこの問題に取り組んだ著者が、事故の教訓からクライシスマネジメントのあり方を提言する。巻頭に折込みの表あり。                        | 一般・社会 | 369 サ |             |
| 113 | 浜通り                 | 2000～2003福島            | 須賀 武継 // 写真 文               | 2021.1 | 雷鳥社           | 今は失われた福島県・浜通りの景色が生き生きと蘇る写真集。夏の棚塩海岸、麓山の火祭り、秋の夏井川溪谷、松川浦大橋の日の出など、2000～2003年に撮影した写真を収録。巻末に写真解説つき。                                    | 郷土資料  | 748 入 |             |
| 112 | 福島中央テレビ50年史         |                        | 福島中央テレビ50年史編集委員会・50年史編纂室:編集 | 2020.1 | 福島中央テレビ       | 第1章:1969～1999年 福島中央テレビの成り立ち、昭和の時代とテレビなど 第2章:2000～2010年 地上デジタル放送開始、放送機材の変化など 第3章:2011～2020年 東日本大震災、原発の水素爆発唯一その瞬間をとらえた ほか          | 郷土資料  | 699 フ |             |
| 111 | 歴史が導く災害科学の新展開Ⅲ      | 日本の災害文化                |                             | 2020.3 | 東北大学災害科学国際研究所 | 令和元年7月に東北大学災害科学国際研究所で開催したシンポジウムの報告書。p50の東北大学災害科学国際研究所シニア研究員・元教授の川島秀一氏は、震災後新地町大戸に在住。                                              | 郷土資料  | 369 レ |             |
| 110 | 特別図録「平成の震災と赤十字」展    | 未来に活かす                 | 大山 直美:編集                    | 2019.6 | 日本赤十字社        | 雲仙普賢岳噴火災害、阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震、平成の主な災害時の日本赤十字社の活動や、天皇皇后両陛下の被災地お見舞いなど。p29の手書きの時系列記録に新地町も掲載あり             | 一般・社会 | 369 オ |             |

|     |                          |                        |                                      |         |                     |                                                                                                                     |       |       |     |
|-----|--------------------------|------------------------|--------------------------------------|---------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-----|
| 109 | 東日本大震災 あの時の図書館員たち        |                        | 日本図書館協会「東日本大震災あの時の図書館員たち」編集委員会:編     | 2020.3  | 日本図書館協会             | 東日本大震災時の図書館職員はどのような状況に置かれ、その後どのような業務を行い、図書館をどのように復旧させていったのでしょうか。岩手・宮城・福島の45人の司書たちの体験記。                              | 郷土資料  | 16 二  |     |
| 108 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集  | 2019/「東日本大震災」子どもたちからの声 | 日本赤十字社福島県支部:編                        | 2019    | 日本赤十字社福島県支部         | p25・46・59・76に、新地町の児童受賞作品・入選児童名、p78に作品応募校の掲載あり。                                                                      | 郷土資料  | 369 二 |     |
| 107 | 東日本大震災復興支援事業総括報告書        | 3.11 2011 2018         | 日本赤十字社:編                             | 2019.2  | 日本赤十字社              | 被害と復興のあゆみと支援事業、海外救援金を原資とする復興支援事業と配分など、日赤の取り組み。                                                                      | 一般・社会 | 369 二 |     |
| 106 | Summary report 2013-2017 |                        | International Atomic Energy Agency:編 | 2018.5  | 福島県                 | ウィーンによる、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故後の放射線モニタリングと除染の分野におけるIAEAと福島県との間の協力プロジェクト最終報告書。巻末に福島県による日本語仮訳を収録。                        | 郷土資料  | 543 7 | 禁帯出 |
| 105 | これから大阪、関西ができること          | 東日本大震災の復興活動支援に学ぶ       | 大阪コミュニティ財団:編集                        | 2019.03 | 大阪コミュニティ財団          | 2018年9月に行われた成果発表会の記録誌。東日本大震災の復興活動を支援する基金について、助成実績ほか                                                                 | 一般・社会 | 369 オ |     |
| 104 | 復興と民話                    | ことばでつなぐ心               | 石井 正己 // 編                           | 2019.3  | 三弥井書店               | 民話とともに東日本大震災を乗り越えた人々の声と思い。「復興を支える民話の力」をテーマにした講演とシンポジウム、「大震災をのりこえ、民話を語りつぐ」をテーマに行った民話の語りや津波体験の朗読などの記録を収録する。           | 郷土資料  | 388 7 |     |
| 103 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集  | 2018/「東日本大震災」子どもたちからの声 | 日本赤十字社福島県支部:編                        | 2018    | 日本赤十字社福島県支部         | p28・36・43・49・71・75・79に、新地町の児童受賞作品・入選児童名、p81に作品応募校の掲載あり。                                                             | 郷土資料  | 369 二 |     |
| 102 | ふくしまの未来へつなぐ、伝える          | シンポジウム記録集2018          | ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局:編                | 2018.1  | ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局 | 東日本大震災後、歴史・文化・震災遺産の保全に対して行われてきた新しい取り組みと成果を発信したシンポジウムの記録集。無形民族文化財の被災と未来に向けた活動、「個人文化財レスキュー」について、地域史資料の収納・保存・活用を考えるなど。 | 一般・社会 | 369 7 |     |
| 101 | 社会のために働く                 | 未来の仕事とリーダーが生まれる環境      | 藤沢 烈:著                               | 2015.3  | 講談社                 | グーグル、ヤフー、UBS…。なぜ彼らは多くの社員を東北に送るのか?「地方創生」のトップランナーが、震災復興の現場から生まれたビジネスと働き方のイノベーションについて綴る。                               | 一般・社会 | 335 7 |     |

|     |                                       |                                |                       |         |                     |                                                                                                                                                    |       |       |      |
|-----|---------------------------------------|--------------------------------|-----------------------|---------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|------|
| 100 | 原発事故後の新地町の人びととステイグマ:写真を通じたビジュアル・ナラティブ | 2017/11/8/注:本文は全文英語(訳なし)       | クエセル アリソン アン:著        | 2017.11 | クエセル アリソンアン         | 東日本大震災後新地町に入り、被災の現状と町民の置かれた状況を目の当たりにする。その後、新地町を何度も訪れ、外国人から見た新地町、及び町民からアンケートなどを取り、写真撮影を通してわかった震災後の新地町を研究した博士論文報告書。本文は全文英語。翻訳なし。                     | 郷土資料  | 369 7 |      |
| 99  | 岩泉・海と小本                               | 東日本大震災を経て、ふるさつを見る・知る・探るビジュアル史料 | 岩手県立大学総合政策部:編         | 2014.11 | イー・ピックス             | 東日本大震災を転換点と定めて歴史過程を通観し、様々な現場を可視化したビジュアル資料。岩泉町小本の「景観」を材料に、既存のアーカイブ資料や過去の地図類を活用しながら、最新の学問成果に基づいてその風土を探る。                                             | 書庫    | 291 イ |      |
| 98  | ふくしまの未来へつなぐ、伝える                       | シンポジウム記録集2017                  | ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局:編 | 2018.1  | ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局 | 東日本大震災後、歴史・文化・震災遺産の保全に対して行われてきた新しい取り組みと成果を発信したシンポジウムの記録集。無形民俗文化財の被災と未来に向けた活動、博物館資料としての「震災遺産」、地域資料・震災遺産・文化財など。                                      | 一般・社会 | 369 7 |      |
| 97  | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集               | 2017/「東日本大震災」子どもたちからの声         | 日本赤十字社福島県支部:編         | 2017    | 日本赤十字社福島県支部         | p22・27・32・33・41・42・50・63・70・82・87に、新地町の児童受賞作品・入選児童名、p89に作品応募校の掲載あり。                                                                                | 郷土資料  | 369 ニ |      |
| 96  | 震災後の地域文化と被災者の民俗誌                      | フィールド災害人文学の構築                  | 高倉 浩樹 // 編            | 2018.1  | 新泉社                 | 震災後、被災者と地域社会はどんな変化を遂げたのか。無形民俗文化財の復興・継承、慰霊のありようなど、民俗学・人類学・宗教学の立場で地域社会と人びとの姿を見つめ、災害からの再生と減災に果たす生活文化の役割を考える。                                          | 一般・社会 | 386 シ |      |
| 95  | 河北新報の百二十年                             |                                | 創刊120周年プロジェクト委員会:編    | 2017.7  | 河北新報社               | 第1部:東日本大震災～あの時、どう伝え、どう乗り越えたか～、第2部:激動の新聞界、第3部:東北復興と河北新報～受け継がれた社是～、第4部:資料編                                                                           | 一般・総記 | 70 カ  |      |
| 94  | 津波災害痕跡の考古学的研究                         |                                | 斎野 裕彦:著               | 2017.9  | 同成社                 | 東日本大震災を東北の現地で体験し、津波防災の必要性を痛感した著者が、考古学・文献史学・地質学など駆使し、津波災害痕跡の調査法とその分析法を提示。未来の防災のため、過去の正確な災害史構築に挑む。                                                   | 一般・歴史 | 202 サ |      |
| 93  | 東北お遍路ガイドブック                           | 第1巻                            | 東北お遍路プロジェクト:編         | 2017.3  | 東北お遍路プロジェクト         | 【岩手県】ケルン・鎮魂の鐘と光、大鳥居と楓の木、普代水門ほか、【宮城県】末の松山(宝国寺)、閑上漁港と日和山、仙台空港(名取市)、戸花山、旧中浜小学校と千年塔、磯崎山公園(山元町)、【福島県】龍昌寺、安波津野神社、大戸浜観音堂(新地町)、津神社、松川浦、長命寺、稻荷神社(寄木神社)(相馬市) | 郷土資料  | 291 ト | 複本あり |

|    |                            |                          |                   |        |                       |                                                                                                                                 |       |      |        |
|----|----------------------------|--------------------------|-------------------|--------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|--------|
| 92 | 3・11被災地の今を訪ねる「東北お遍路」巡礼地めぐり |                          | 金澤 昭雄 // 文 写真     | 2017.7 | 東京法規出版                | 東日本大震災の被災地を訪ね、祈り、復興を応援しよう。慰霊・鎮魂のために選定した、青森、岩手、宮城、福島4県の沿岸部の巡礼地63か所を、撮り下ろし写真約450点とともに紹介する。データ:2017年3月現在。                          | 一般・歴史 | 291カ | 複本2冊あり |
| 91 | 大悲山石仏保存修理事業報告書             | 東日本大震災にともなう災害復旧事業と史跡整備事業 | 南相馬市教育委員会         | 2017.3 | 南相馬市教育委員会             |                                                                                                                                 | 郷土資料  | 709ミ |        |
| 90 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集    | 2016/「東日本大震災」子どもたちからの声   | 日本赤十字社福島県支部:編     | 2016   | 日本赤十字社福島県支部           | p17・29・34・49・51・55・65・66・70・73・77・86・90・92に、新地町の児童受賞作品・入選児童名、p94に学校奨励賞として新地小学校、p95に作品応募校の掲載あり。                                  | 郷土資料  | 369ニ |        |
| 89 | 海と生きる作法                    | 漁師から学ぶ災害観                | 川島 秀一 // 著        | 2017.3 | 富山房インターナショナル          | 今こそ、津波に何度も来襲された三陸沿岸に生き続けた漁師の、運命観、死生観、そして自然観に学ぶときではないか。「海と生きる」ということの意味を、気仙沼市の復興とともに考える。                                          | 一般・社会 | 384カ |        |
| 88 | ともに歩んだ五十年                  | 心豊かに平和を願って               | 福島県退職女性教職員あけぼの会:編 | 2016.6 | 福島県退職女性教職員あけぼの会       | あけぼの会五十周年記念総会／あけぼの会のあゆみ／東日本大震災と脱原発運動／あけぼの会十二支部のあゆみ／年表／資料                                                                        | 郷土資料  | 369フ |        |
| 87 | わたしの青少年赤十字 一〇〇文字のつづやき      | 2016/詩・100文字提案 十周年記念作品集  | 日本赤十字社福島県支部:編     | 2016   | 日本赤十字社福島県支部           | 県内の児童生徒の青少年赤十字に対する意識を高め、活動の活性化を図ることを目的としてはじめられた事業。十周年記念作品集として、2006年度から2015年度の優秀作品まとめたもの。                                        | 郷土資料  | 369ニ |        |
| 86 | 命と向きあう教室                   |                          | 制野 俊弘 // 著        | 2016.5 | ポプラ社                  | 3月11日、あの日すべてが終わり、すべてが始まった。NHKスペシャル「命と向きあう教室～被災地の15歳・1年の記録～」で放送された「<命とは何か>を問う授業」と、その背後の取り組みをまとめたノンフィクション。                        | 一般・社会 | 370セ |        |
| 85 | 災害医療総合学習センター年報             | Vol.3/福島だからできることがある      | 阿部 恩:編            | 2016   | 福島県立医科大学 災害医療総合学習センター | 東日本大震災後、福島県立医科大学の医療人育成・支援センター内に2012年に設置された、災害医療総合センターの活動をまとめたもの。スタッフ、活動報告(教育・地域貢献)、業績、行事カレンダーなどを掲載。                             | 一般・自然 | 498サ |        |
| 84 | 東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護          | 中間報告                     | 文化庁文化財部記念物課       | 2016.3 | 文化庁文化財部記念物課           | 1. 東日本大震災の発生と埋蔵文化財 2. 復興のための文化庁の方針 3. 埋蔵文化財専門職員の派遣 4. 埋蔵文化財の把握 5. 発掘調査の成果 6. 発掘成果の発信 7. 今後へ向けて 資料編(津波浸水域地図、文化庁による埋蔵文化財関係の対応、ほか) | 郷土資料  | 709フ |        |

|    |                                                    |                                     |                                 |         |                 |                                                                                                                                                                                      |       |      |  |
|----|----------------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|--|
| 83 | 震災復興は東北をどう変えたか                                     | 震災前の構造的問題、震災から5年目の課題、これからの東北の新たな可能性 | 東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト:編 | 2016.3  | 南北社             | 東北大学大学院経済学研究科・震災復興研究センターによる「地域産業復興調査研究プロジェクト」の研究成果をまとめる。震災復興企業実態調査、東北の産業復興、復興支援と地域再生、復興政策の評価に向けて、などを収録。                                                                              | 一般・社会 | 369ト |  |
| 82 | ふくしまの民族芸能                                          | ふるりの誇り ふたたび                         | 福島民友新聞社:編                       | 2015.12 | 福島民友新聞社         | 福島県は、神楽、田植踊、獅子舞、念仏踊など民俗芸能の宝庫であり、約800カ所継承されています。しかし、担い手の高齢化、後継者不足、東日本大震災と原発事故により、浜通り地方を中心に多くの民俗芸能団体が存続の危機にさらされています。民俗芸能は「住民の心のよりどころ」であり、「ふるさとそのもの」。県内46団体の現状や、関係者の想いをまとめた1冊。監修は懸田弘訓氏。 | 郷土資料  | 386フ |  |
| 81 | 16歳の語り部                                            |                                     | 雁部 那由多 // 語り部                   | 2016.2  | ポプラ社            | 東日本大震災から5年。当時、東松島市立大曲小学校に通う小学5年生だった3人が“あの日”を語る。16歳になった彼らにしか語れない言葉の記録。話を聞いた、東京都の高校生、元・宮城県中学校教師の言葉も掲載。                                                                                 | 書庫    | 369ジ |  |
| 80 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集                            | 2015/「東日本大震災」子どもたちからの声              | 日本赤十字社福島県支部:編                   | 2015    | 日本赤十字社福島県支部     | p28・29・42・43・61・63・67・76・77・80・83に、新地町の児童受賞作品掲載あり。                                                                                                                                   | 郷土資料  | 369ニ |  |
| 79 | LRG ライブラリー・リソース・ガイド                                | 第6号/2014年冬号                         | 岡本 真:編                          | 2014.2  | アカデミック・リソース・ガイド | 東日本大震災発災から3年という節目にあたり、いま一度東日本大震災を振り返り、東北だけでなく全国どこでも災害に合う可能性がある日本において図書館の役割を概観する。                                                                                                     | 書庫    | 10オ  |  |
| 78 | 東日本大震災調査報告書                                        |                                     | 福島県私立幼稚園連合会:編                   | 2015.3  | 福島県私立幼稚園連合会     | 原発事故に対して、幼児を持つ親がどのような意識を持っていたか、どのような行動をとったかを明確にするために、福島県私立幼稚園連合会加盟幼稚園に在籍する幼児を持つ保護者を対象に行ったアンケート調査報告。                                                                                  | 書庫    | 369フ |  |
| 77 | 季刊 日本の祭り                                           | 平成27年 春号                            | 渡部 里美:編集<br>行人 ほか               | 2015.2  | ゆめディア           | 日本各地の祭りを紹介。写真も多く掲載されている。p56～59には相馬野馬追(福島県相馬市、南相馬市、新地町、ほか)が紹介されており、東日本大震災、原発事故後の“被災地での祭り”について語られている。                                                                                  | 一般・社会 | 386ワ |  |
| 76 | 複雑な震災への対処のあり方:報道の影響、住民が感ずる偏見、福島の新地町における地域の連帯感とその効力 | 2013年5月13日                          | クエセル アリソン:著                     | 2013.5  | クエセル アリソン       | 東日本大震災後新地町に入り、被災の現状と町民の置かれた状況を目の当たりにする。それから約2年間、新地町を何度も訪れ、東日本大震災の報道と、町民・地域の連帯などについて調査研究した著者の修士論文報告書。外国人から見た新地町及び町民。本文は全文英語。翻訳なし。巻末の修士論文主旨のみ日本語訳あり。                                   | 郷土資料  | 369ア |  |

|    |                         |                          |                    |         |             |                                                                                                                            |       |      |     |
|----|-------------------------|--------------------------|--------------------|---------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|-----|
| 75 | 地域防災データ総覧               | 「東日本大震災関連調査(平成25年度)編」    | 消防科学総合センター:編       | 2014.2  | 消防科学総合センター  | 岩手県宮古市の災害対応(受援)、福島第一原発事故による広域避難で生じた自治体の対応(浪江町、二本松市)、被災した消防庁舎の運営と今後の整備について。資料編として学識者・自治体職員等防災関係者の論文を掲載。                     | 書庫    | 369シ |     |
| 74 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集 | 2014/「東日本大震災」子どもたちからの声   | 日本赤十字社福島県支部:編      | 2014    | 日本赤十字社福島県支部 | p27・28・33・39・48・72・74・93・102に、新地町の児童受賞作品掲載あり。                                                                              | 郷土資料  | 369ニ |     |
| 73 | 釜石の奇跡                   | どんな防災教育が子どもの“いのち”を救えるのか? | NHKスペシャル取材班 // 著   | 2015.1  | イースト・プレス    | 東日本大震災の大津波の被害から、184人の児童全員が助かった岩手県の釜石小学校。あの日、児童達は何を思いどう行動したのかを取材し、“奇跡”を生み出した防災教育と危機管理術を伝える。「NHKスペシャル」を書籍化。                  | 書庫    | 374カ |     |
| 72 | FUKUSHIMA いのちの最前線       | 東日本大震災の活動記録集             | 福島県立医科大学           | 2012.12 | 福島県立医科大学    | 東日本大震災発生からの福島県立医科大学の活動を、学内の論文、資料、写真を集めて編纂。1戦場と化した福島医大、2福島医大関係者行動記録(手記とメッセージ)、3放射能との闘い、4患者救済に奔走した活動記録(論文・研究発表)、5次世代へ伝える、付録。 | 一般・自然 | 498フ |     |
| 71 | 母への手紙                   | 今あなたに伝えたい「ありがとう」         | 「母への手紙」作品集編さん委員会:編 | 2014.5  | 橋本五郎文庫      | 橋本五郎文庫が行った「母への手紙」コンクール。全国から1300を越える応募があり、各入賞作品を掲載。東日本大震災について書かれた作品も掲載されている。                                                | 一般・言語 | 816ハ |     |
| 70 | アーカイブ・ボランティア            | 国内の被災地で、そして海外の難民資料を      | 大西 愛 // 編          | 2014.6  | 大阪大学出版会     | 災害や戦争で残された人間の活動記録の積み重ねを、アーカイブとして残すためのボランティア活動を紹介。阪神・淡路大震災、東日本大震災、和歌山の水害や海外難民の記録保存にかかわったボランティアの作業などをとりあげる。                  | 一般・総記 | 18フ  |     |
| 69 | 震災ビッグデータ                | 可視化された                   | 阿部 博史 // 編         | 2014.5  | NHK出版       | 産学官民の英知が明らかにした真実と教訓、そして光。東日本大震災と、この震災をめぐる事象に沿って集積・分析されたビッグデータを使い、発災後の避難行動や復興の実態、都市パニックの課題に迫る。NHKの番組を書籍化。                   | 一般・社会 | 369シ |     |
| 68 | 断絶の都市センダイ               | ブラック国家・日本の縮図             | 今野 晴貴 // 編著        | 2014.5  | 朝日新聞出版      | 支援という名の偽善ビジネス、分断されたコミュニティ、都市型の貧困と孤独…。この国には、善意も絆も存在しないのか? NPO法人POSSEの仙台における被災地支援から見たものをとりまとめたルポ。                            | 一般・社会 | 369コ |     |
| 67 | 福島民報百二十年史               | 福島は負けない明日へ 1892→2012     | 福島民報社120年史編集委員会:編  | 2014    | 福島民報社       | 写真p5(東日本大震災)に新地駅舎の写真。p36に新地町販売店の写真。p68に橋本元町長の関連記事、p650～651、656、665、720、737(民報サロン執筆者)に新地町関連の記事あり。                           | 郷土資料  | 70フ  | 禁帯出 |

|    |                                                              |                              |                         |        |                            |                                                                                                         |       |       |  |
|----|--------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------|--------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|--|
| 66 | 福島県における歴史資料の保全と学術的活用を目的とする地域連携に基づく現況調査と防災的保全システムの構築に関する研究報告書 | 東北大学災害科学国際研究所 特定プロジェクト 研究種目A | 福島大学行政政策学類 阿部 浩一: 研究代表者 | 2014.2 | 福島大学人文社会学群行政政策学類・准教授 阿部 浩一 | 東日本大震災後の福島県における歴史資料保全活動のあゆみ 他、双葉町・大熊町・富岡町などの原発事故警戒区域内からの文化財保護について。                                      | 郷土資料  | 709 7 |  |
| 65 | 東日本大震災と私たち                                                   | 和合亮一講演会「わたしを生きる、あなたを生きる。」    | 神戸女学院大学文学部総合文化学科 // 編著  | 2014.3 | 冬弓舎                        | 詩人の和合亮一が震災と原発事故とそれからの1年間について語った、2012年3月開催の講演会の全記録を掲載。ほか、講演会進行役による文章や、江弘毅の震災体験、原発を問い直す文章等を収録。            | 書庫    | 369 ヒ |  |
| 64 | 震災学                                                          | vol.4(2014)                  |                         | 2014.3 | 東北学院大学                     | 東日本大震災によって浮かびあがる問いを、被災地・東北から発信する。vol.4は、シンポジウム「復活と創造 東北の地域力」の基調講演やパネル討論、「防潮堤を考える」などを収録する。               | 書庫    | 369 シ |  |
| 63 | 希望の教育                                                        | 持続可能な地域を実現する創造的復興教育          | 文部科学省創造的復興教育研究会 // 著    | 2014.3 | 東洋館出版社                     | 未曾有の大震災に、東北の子供たちが起こした奇跡と、大人たちが見いだした希望。復興教育によって「真の生きる力」を育む取組を紹介しながら、東北を発信地とする我が国の「未来型教育モデル」を示す。          | 一般・社会 | 370 キ |  |
| 62 | 東日本大震災からの真の農業復興への挑戦                                          | 東京農業大学と相馬市の連携                | 東京農業大学 // 編             | 2014.3 | ぎょうせい                      | 相馬市と東京農業大学の被災地における農業ならびに地域復興の2年半の活動の記録。「東京農大方式」による津波被害水田の復興、イチゴ生産・放射能汚染水田・森林汚染の復興、相馬市の農業振興対策などについてまとめる。 | 一般・産業 | 612 ヒ |  |
| 61 | 海よ里よ、いつの日に還る                                                 | 東日本大震災3年目の記録                 | 寺島 英弥 // 著              | 2014.2 | 明石書店                       | 忘却と風化の壁を越えて問う。石巻の浜、相馬の海、飯館の里は何を奪われ、何を取り戻そうとしているのか。被災者に寄り添い、その声を届け続けるジャーナリストが見た被災地の今。被災地取材記ブログを加筆、再構成。   | 書庫    | 369 テ |  |
| 60 | 無形民俗文化財が被災するということ                                            | 東日本大震災と宮城県沿岸部地域社会の民俗誌        | 高倉 浩樹 // 編              | 2014.1 | 新泉社                        | 東日本大震災前からの祭礼、民俗芸能などの伝統行事と生業の歴史を踏まえ、甚大な震災被害をこうむった宮城県沿岸部地域社会における無形民俗文化財のありようを記録・分析し、社会的意義を考察する。           | 一般・社会 | 386 ム |  |
| 59 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集                                      | 2013/「東日本大震災」子どもたちからの声       | 日本赤十字社福島県支部:編           | 2013   | 日本赤十字社福島県支部                | p17・24・27・30・41・44・48・61・65・68・71・75・80、85 に、新地町の児童受賞作品掲載あり。                                            | 郷土資料  | 369 ニ |  |
| 58 | 学びと教育                                                        | NO.6                         | 多摩大学付属聖ヶ丘中学高等学校:編       | 2012   | 多摩大学付属聖ヶ丘中学高等学校            | 見開写真、p2～25に新地町の震災の様子、吹奏楽部の新地町訪問などが掲載。                                                                   | 一般・社会 | 369 ヲ |  |



|    |                  |                   |                       |         |               |                                                                                                                           |       |      |        |
|----|------------------|-------------------|-----------------------|---------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|--------|
| 57 | 3・11を心に刻むブックガイド  |                   | 草谷桂子:著                | 2013.11 | 子どもの未来社       | 東日本大震災後、人々が負った深い傷から血がふき出るように、数々の本が出版された。「あの日を忘れない」ために、家庭文庫を30年以上主宰している著者が、子どもの本を中心とした3・11に関連する本300冊を紹介する。                 | 書庫    | 369ク |        |
| 56 | 防災から減災へ          | 東日本大震災の取材ノートから    | 山崎 登 // 著             | 2013.1  | 近代消防社         | NHK解説委員が、東日本大震災をテレビやラジオがどのように伝えたかとともに、災害報道の役割や今後のあり方を展望。被災地での取材から今後の防災対策についての課題を整理し、巨大地震にどう立ち向かうかを考える。                    | 書庫    | 369ヤ | 複本あり   |
| 55 | 命のつぎに大事なもの       |                   | 村上 美保子:著              | 2013.9  | 新日本文芸協会       | 「東北まち物語紙芝居化100本プロジェクト」の中の1本としてつくられたお話。福島県相馬郡新地町の、釣師浜の複数の漁師の人々の東日本大震災の経験をもとにまとめられた。                                        | 郷土資料  | 914ム | 複本あり   |
| 54 | 実証・仮設住宅          | 東日本大震災の現場から       | 大水 敏弘 // 著            | 2013.9  | 学芸出版社         | 東日本大震災の被災地で仮設住宅建設の陣頭指揮をし、様々な問題に直面した著者が、当時の状況を振り返りながら、大規模な災害時の仮設住宅建設をめぐる課題を洗い出し、仮設住宅建設のあり方を考察する。                           | 一般・技術 | 527オ |        |
| 53 | 2011・3・11 東日本大震災 | 地震・津波・原発事故        | 梁川 武治:著               | 2013.7  | 本田印刷株式会社      | 今回の大震災は地震・津波と原発事故が最悪の規模で同時に発生し、未曾有の複合災害となった。大震災を経験した一人として、地震・津波・原発事故がなぜ起き、どのような災害であったかを検証し、記録に残して後世に伝えたいと思った。(「はじめに」より抜粋) | 書庫    | 369ヤ |        |
| 52 | 明けない夜はないから       |                   | 宮城県の子どもたち<br>+ 荒井良二:絵 | 2013.2  | フェリンモ プランニング開 | 東日本大震災の被災地・宮城県で生まれた歌「明けない夜はないから」の歌詞とともに、絵本作家・荒井良二が、だれかとだれかをつなぐ“音のボタンたち”を描く。被災地の子もたちの絵や言葉なども収録。広がるページあり。                   | 一般・芸術 | 726ア |        |
| 51 | 震災を泣いて笑って綴るうた    |                   | 菅野 幹雄:詠みびと            | 2013.5  | AKIRA         | 新地町在住の著者が東日本大震災の避難生活の中で綴った句と、震災時の今泉地区での著者の状況など記録を克明に綴る。                                                                   | 郷土資料  | 369カ | 複本2冊あり |
| 50 | ふくしまの芸術文化五十年     | 福島県芸術祭五十年 震災復興記録誌 | 福島県芸術文化団体連合会:編集       | 2013.2  | 福島県芸術祭運営委員会   | カラー写真p「東日本大震災 被災を乗り越えて」に、新地町の写真あり。また、240～241pに新地町文化協会、326～328、350～351、356p に被害状況の記載あり。                                    | 郷土資料  | 706フ | 複本あり   |

|    |                         |                        |                                                  |        |             |                                                                                                                                     |       |      |  |
|----|-------------------------|------------------------|--------------------------------------------------|--------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|--|
| 49 | JR東日本の奇跡を生んだ組合員の声       | 3・11の教訓                | 東日本大震災安全対策検証委員会:編                                | 2012.6 | 東日本旅客鉄道労働組合 | 未曾有の東日本大震災の中で「的確な現場判断が何故できたのか」「より安全・安心な鉄道づくり・職場づくり」を後世に残し、伝えるため、組合員の体験を一つにまとめた一冊。p194～195に、震災時、新地駅での組合員の対応についての記載あり。表紙写真は新地駅での被災車両。 | 一般・社会 | 366ヒ |  |
| 48 | 東日本大震災                  | 3.11あの日を忘れないでほしい       | 土木学会土木学会誌編集委員会東日本大震災～3.11あの日を忘れないでほしい～編集小委員会//編集 | 2013.3 | 土木学会        | 東日本大震災の被災状況調査および復旧復興に関する提言を行ってきた土木学会が、『土木学会誌』に掲載した記事を集成。初動体制や応急復旧に向けた取組み、災害時における情報伝達のあり方などについての現場の声を伝える。                            | 一般・技術 | 510ヒ |  |
| 47 | 東日本大震災の地域経済への影響         | 企業経営・雇用・金融             | 戸室 健作:著                                          | 2013.2 | 山形大学人文学部    | 被災地の経済復興ビジョンを描くための基礎となる実態分析を企業経営、雇用、金融の3つの観点から実施。                                                                                   | 書庫    | 332ト |  |
| 46 | 解き明かされる日本最古の歴史津波        |                        | 飯沼 勇義 // 著                                       | 2013.3 | 鳥影社         | 縄文時代から巨大地震が一定の周期でくりかえされてきたことは、三千年以上前の津波堆積物によっても実証された。東日本大震災の十数年前から仙台平野の巨大津波の来襲を警告してきた著者が、津波の歴史を明らかにする。                              | 一般・自然 | 453イ |  |
| 45 | 3.11からの挑戦               | Team SHOUHEIKOU        |                                                  | 2013.2 | (株)財界21     | 東日本大震災に東日本国際大学の教職員が一丸となって立ち向かい、学生達とともにいわき市、浜通り地区の復旧・復興に、いかに取り組んできたかを克明に記した記録の一冊。                                                    | 書庫    | 377ザ |  |
| 44 | 災害・崩壊・津波地名解             | 地名に込められた伝言             | 太宰 幸子 // 著                                       | 2013.3 | 彩流社         | 宮城県・東北を中心に地名研究を行ってきた著者が、洪水など水による災害を知らせる地名、崖崩れなどの災害を知らせる地名のほか、東日本大震災後の調査で明らかになった津波災害地名を紹介する。                                         | 一般・歴史 | 291タ |  |
| 43 | 封印された震災死その「真相」          | もの言わぬ2万人の叫び            | 吉田 典史 // 著                                       | 2013.2 | 世界文化社       | なぜ多くの人々が命を落とすことになったのか。そこに備えはあったのか、見込みは甘くなかったのか…。東日本大震災の死者・行方不明者2万人の真相に、遺族・検死医・消防団員など多くの人々の証言から迫る。                                   | 書庫    | 369ヨ |  |
| 42 | 歴史としての東日本大震災            | 口碑伝承をおろそかにするなかれ        | 岩本 由輝 // 編                                       | 2013.1 | 刀水書房        | 地元で伝えられている口碑伝承が災害から人々の身を守る知恵になるということを、東日本大震災を例に、様々な史資料を駆使しながら科学者も交えて検証する。                                                           | 郷土資料  | 453レ |  |
| 41 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集 | 2012/「東日本大震災」子どもたちからの声 | 日本赤十字社福島県支部:編                                    | 2012   | 日本赤十字社福島県支部 | p5・10～13・17・20・28・38・42・56・58・71・78・82・91に、新地町の児童受賞作品掲載あり。                                                                          | 郷土資料  | 369ニ |  |

|    |                             |                       |                    |         |               |                                                                                                                                               |           |       |  |
|----|-----------------------------|-----------------------|--------------------|---------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|--|
| 40 | 別冊水産振興                      | 東日本大震災と漁業・漁村の再建方      | 中澤 齊彬:編集           | 2011.4  | 財団法人東京水産振興    |                                                                                                                                               | 書庫        | 661 ナ |  |
| 39 | 3.11 私たちは忘れない～ふくしまの歴史を残したい～ | 震災かたりべ作品集             | 商工会南双葉広域連携協議会:編    | 2012.12 | 商工会南双葉広域連携協議会 |                                                                                                                                               | 一般・日<br>文 | 916 シ |  |
| 38 | 記憶と記録 311まるごとアーカイブス         |                       | 長坂 俊成:著            | 2012.4  | 岩波書店          | リスクガバナンスの視点から、今後の災害デジタルアーカイブスのあるべき姿を展望することを目的として、東日本大震災直後から、公民協働に基づき試行錯誤してきた災害アーカイブの活動の軌跡をまとめる。                                               | 書庫        | 369 ナ |  |
| 37 | 「五強」防災立国論                   | 東日本大震災が教えた日本再生への道     | 佐藤 のぶあき:著          | 2012.8  | 産経新聞出版        | 長年、社会資本整備ひと筋に歩んできた著者が、人々の絆・命と財産を守るインフラ・ふるさと・指導者のリーダーシップ・国難に対応できる制度を強くする「五強」によって強靱な国土をつくる「防災立国」の考え方を説く。                                        | 書庫        | 369 サ |  |
| 36 | それでも、生きる。                   | NHK取材班が聴いた被災地3000人の声  | NHK報道局社会部 // 著     | 2012.12 | イースト・プレス      | 震災後1年の被災者の現在を描き大反響を読んだ、2012年3月放送のNHK「クローズアップ現代」。直接取材した記者が、番組内に収まり切らなかった被災者の思いや背景を含めて執筆。アンケートの自由記述欄の一部も紹介。                                     | 書庫        | 369 ソ |  |
| 35 | 神社は警告する                     | 古代から伝わる津波のメッセージ       | 高世 仁 // 著          | 2012.11 | 講談社           | 津波が到達した浸水線を辿っていくと、なぜかそこには神社が並んでいる。この不思議な事実は何を物語るのか? TBS「報道特集」の番組取材と追加調査を基に、東日本大震災で多くの神社が津波被害を免れたことの意味を探る。                                     | 書庫        | 369 ジ |  |
| 34 | 福島的美術館で何が起こっていたのか           | 震災、原発事故、ベン・シャーンのこと    | 黒川 創 // 編          | 2012.11 | 編集グループSURE    | 作家・黒川創が、福島県立美術館の学芸員たちに、東日本大震災と原発事故発生以来どんな経験をして何を考えたのか、を聞いた対話の記録。ベン・シャーン作品が不出品となった経緯についても綴る。黒川創の講演内容も収録。                                       | 一般・芸<br>術 | 706 フ |  |
| 33 | あのとき、大川小学校で何が起きたのか          |                       | 池上 正樹 // 文         | 2012.11 | 青志社           | 3・11の津波で多くの犠牲者を出した宮城県石巻市立大川小学校。これまでひた隠しにされてきた、避難を開始するまでの「空白の51分」を、資料開示請求から得た新事実と、行政・遺族双方への取材で明らかにする。                                          | 書庫        | 369 イ |  |
| 32 | 震災と語り                       |                       | 石井 正己 // 編         | 2012.1  | 三弥井書店         | 震災と津波から何を学び、何をみつめ、人々はどのように歩みすすむのか。東日本大震災を体験した語り手・民俗学者の真の声から、言葉の文化、語り継がれる伝承文化の重要性を再考する。                                                        | 一般・社<br>会 | 380 シ |  |
| 31 | 2011. 3. 11 大地震 大津波を語り継ぐために | 声なきものの声を聴き 形なきものの形を刻む | 第七回みやぎ民話の学校実行委員会:編 | 2012.3  | みやぎ民話の会       | 2011年8月21、22日に開かれた「第七回みやぎ民話の学校」の、津波に遭った六人の方々の体験を語った記録集。(震災当時の新地町についての記載や、語りあり。小野トメヨさん p1、14～15、58～67、122～124、130～131、146～152、209、220、230～231) | 郷土資料      | 369 タ |  |

|    |                         |                    |                       |         |             |                                                                                                          |       |      |      |
|----|-------------------------|--------------------|-----------------------|---------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|------|
| 30 | 地震に負けない地盤がわかる本          | Q&Aで一発回答!          |                       | 2012.6  | エクスマレッジ     | 東日本大震災による地盤被害を写真とデータで紹介。さらに、液状化から地盤調査、補修工事まで、最低限知っておかなければならない地盤の知識について、Q&A形式で分かりやすく解説する。                 | 一般・技術 | 511ジ |      |
| 29 | ラジオは君を救ったか?             | 大震災とコミュニティFM       | 米村 秀司 // 編著           | 2012.6  | ラゲーナ出版      | 家族や友達、何もかもをうしなした被災者へ、ラジオは言葉を送り続けた…。地域に深く寄り添うコミュニティFMの現状と経営の課題を、東日本大震災の被災地レポート、パーソナリティーたちの被災地取材記などを交えて綴る。 | 書庫    | 369ヨ |      |
| 28 | 東日本大震災と社会教育             | 3・11後の世界にむきあう学習を拓く | 石井山 竜平 / 編著           |         | 国土社         | 東日本大震災という未曾有の被災体験から、私たちは何を学ぶべきか。被災地の社会教育施設職員の体験や、福島での座談会の様子などを紹介し、今後の社会教育の方向性や復興に向けた課題について考察する。          | 書庫    | 379イ |      |
| 27 | 海岸線は語る                  | 東日本大震災のあとで         | 松本 健一 // 著            | 2012.3  | ミシマ社        | 東日本大震災と原発事故のあと、東日本の海岸線はどうなっているのか。3・11当時、内閣官房参与だった著者が、じぶんの足で海岸線を歩きなおし確信した「復興のかたち」を綴る。                     | 書庫    | 369マ |      |
| 26 | 東日本大震災とこれからの水産業         |                    | 白須 敏朗 // 著            | 2012.1  | 成山堂書店       | 東北の水産業に未曾有の被害をもたらした東日本大震災。その発生から現在に至るまでの経緯と復興への取り組みを振り返り、再生への道筋とこれからのあるべき姿を考える。                          | 一般・産業 | 662シ |      |
| 25 | 日本の地震地図                 | 東日本大震災後版           | 岡田 義光 // 著            | 2012.1  | 東京書籍        | どこで、いつ、何が起こるのか。全国の7つのエリア別に、過去に起きた主な大地震、最新の地震発生予測とそれによる地震動予測の評価結果、地震対策などを掲載する。                            | 一般・自然 | 453オ |      |
| 24 | IT時代の震災と核被害             |                    | コンピューターテクノロジー編集部 // 編 | 2011.12 | インプレスジャパン   | グーグル、ヤフー、ツイッター、アマゾン、動画サイトは3.11にどう動いたか。IT集団の初動レポートとともに、ツール、あるいはメディアとしてのITと、ITの可能性を探る。                     | 書庫    | 77   |      |
| 23 | わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集 | 2011               | 日本赤十字社福島県支部:編         | 2011    | 日本赤十字社福島県支部 | p8・11・18・24・29・31・34・37・49・67・72・78・83に、福田小児童受賞作品掲載あり。                                                   | 郷土資料  | 369ニ | 複本あり |
| 22 | 巨大地震・巨大津波               | 東日本大震災の検証          | 平田 直 // 著             | 2011.11 | 朝倉書店        | 科学は巨大地震・巨大津波といかに向き合うか。2011年3月11日に発生した東日本大震災における、巨大地震・巨大津波のメカニズム、人的被害の特徴と津波による犠牲者などについて、関連研究者が平易に解説する。    | 書庫    | 453キ |      |

|    |                  |                           |                     |         |          |                                                                                                        |       |       |  |
|----|------------------|---------------------------|---------------------|---------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|--|
| 21 | 東日本大震災とコンビニ      | 便利さ(コンビニエンス)を問い直す         | 川邊 信雄 // 著          | 2011.11 | 早稲田大学出版部 | 被災地の人々が災害直後に何を求め、大手コンビニチェーンはどのように対応しようとしたのか。また対応が可能であったのはなぜか。こういった問題を検討し、大災害時における「コンビニエンス」とは何かを明らかにする。 | 書庫    | 673カ  |  |
| 20 | 災害時の栄養・食糧問題      |                           | 日本栄養 食糧学会 // 監修     | 2011.11 | 建帛社      | 東日本大震災の発生を受けて、急遽企画されたシンポジウムの内容をまとめて紹介。災害時における栄養・食生活支援のための体制整備、災害時に注意すべきたんぱく質・ビタミン・ミネラル不足への対応などを収録する。   | 一般・自然 | 498サ  |  |
| 19 | ポスト3・11の子育てマニュアル | 震災と放射能汚染、子どもたちは何を思うのか?    | 富永 良喜 // 著          | 2011.11 | 講談社      | ショッキングな大震災の経験と、生活不安をあおる原発事故。いま、子どもの心に何が起きているのか。親は子に何を語りかけ、どう接するべきなのか。災害後の子ども心理と子育てを5人の心理学者が徹底解説する。     | 書庫    | 493ホ° |  |
| 18 | そだちと臨床           | vol.11(2011October)       | 『そだちと臨床』編集委員会 // 編集 | 2011.1  | 明石書店     | 臨床現場にある実質、実態、課題などを丁寧に描き出し、子どもたちの福祉について考える。特集「東日本大震災と子どものだち」では、現地の支援者たちの活動、阪神・淡路大震災を経験した教師たちの思いなどを紹介する。 | 書庫    | 376ソ  |  |
| 17 | 東北思い出写真館         | 写真集・震災前の私たちの街             | 東北思い出写真館運営グループ // 著 | 2011.1  | 宝島社      | 「被災地」とひとくりにされている町や村は、個性豊かな表情を持つ、自慢のふるさとだった。サイト『東北思い出写真館』に寄せられた、東日本大震災で被害の大きかった岩手県・宮城県・福島県の被災前の写真を紹介する。 | 一般・歴史 | 291ト  |  |
| 16 | 仙台学              | vol.11                    |                     | 2011.4  | 荒蝦夷      | p50に星亮一(作家)著、「福島からの報告」の中に「新地駅の奇跡」が記載されている。                                                             | 書庫    | 291セ  |  |
| 15 | 「危機管理・記者会見」のノウハウ | 東日本大震災・政変・スキャンダルをいかに乗り越える | 佐々 淳行 // 著          | 2011.7  | 文藝春秋     |                                                                                                        | 文庫    | 336サ  |  |
| 14 | 大震災でネットはどう使われたか  |                           | 杉本 古関 // ほか著        | 2011.7  | 洋泉社      | 東日本大震災でネットがどのように使われたか、現地取材をもとに検証。また、被災者側と支援者側を結びつけるソーシャルメディアの有用性と限界を調査し、災害時のネット活用のノウハウを詳しく紹介する。        | 一般・総記 | 7ダ°   |  |
| 13 | 震災復興             | どうなるこの地域、あの企業             |                     | 2011.7  | 洋泉社      | 小宮山宏による「東日本大震災プラチナ復興構想」をはじめとした日本復興計画を提言するほか、原発についての考察を掲載。日本経済を支える業界・企業の今後についても言及する。                    | 書庫    | 332シ  |  |

|    |               |                   |                         |        |           |                                                                                                      |       |       |  |
|----|---------------|-------------------|-------------------------|--------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|--|
| 12 | 東日本大震災の教訓     | 都市・建築編            |                         | 2011.6 | 日経BP社     | 被災したり避難所になったりした著名建築をレポート。津波や液状化現象、長周期地震動、非構造部材など、震災で露呈した新たなリスクと対応策を実例を通して解説し、将来の建築計画や街づくりの在り方を提示する。  | 一般・技術 | 524 ヒ |  |
| 11 | 東日本大震災の教訓     | 土木編               |                         | 2011.6 | 日経BP社     | 防潮堤や橋、道路、地盤などの被災メカニズムを、豊富な写真と専門家の分析をもとに解説するとともに、「ハード」「ソフト」両面での対策の在り方を提示。動き出した復旧・復興の足取りも紹介する。         | 一般・技術 | 524 ヒ |  |
| 10 | 東日本大震災を解き明かす  |                   | NHK「サイエンスZERO」取材班 // 編著 | 2011.6 | NHK出版     | 未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震。これまでの常識を覆す「異様な」巨大地震発生のメカニズムを解明する。NHKのテレビ番組「サイエンスZERO・東日本大震災何が起こったのか」を再構成したもの。 | 書庫    | 453 ヒ |  |
| 9  | 東日本大震災の教訓     | 住宅編               |                         | 2011.6 | 日経BP社     | 震災に強い住まいをいかにつくり、備えるか。東日本大震災と過去事例の詳細を徹底検証し、地震に強い住まいをつくるための実務ノウハウを解説。また、今後目指すべき住宅の姿や技術・市場動向も紹介する。      | 一般・技術 | 524 ヒ |  |
| 8  | 図解こんなに凄かった自衛隊 | 東日本大震災でわかった実力     | 芦川 淳 // 著               | 2011.5 | 日本文芸社     | 2011年3月11日午後2時46分。世界を震撼させた「東日本大震災」に自衛隊はいかに立ち向かったか？ 陸海空自衛隊の最新装備から戦闘力・組織までを徹底検証する。                     | 一般・社会 | 392 ア |  |
| 7  | 大震災後の日本経済     | 100年に1度のターニングポイント | 野口 悠紀雄 // 著             | 2011.5 | ダイヤモンド社   | 復旧型と転換型のどちらをとるか？ この選択こそが復興戦略の基本であり、今後の日本の姿を決める。電力消費抑制、復興財源の捻出、産業構造の転換など、東日本大震災後の経済再生への処方箋を明快に論じる。    | 書庫    | 332 ノ |  |
| 6  | 経済復興          | 大震災から立ち上がる        | 岩田 規久男 // 著             | 2011.5 | 筑摩書房      | 2011年3月11日に東北・関東を襲った巨大地震。被害総額は？ 復興予算の必要額は？ これからのエネルギー政策に必要なことは？ 未曾有の災害から立ち上がるために必要な復興政策を緊急提言する。      | 書庫    | 332 イ |  |
| 5  | 震災で日本経済はどうか   | 緊急出版              | 藤田 勉 // 著               | 2011.4 | 日本経済新聞出版社 | 危機はこの国を強くする！ 滞る部品供給、続く電力不足、長期にわたり分断される復興特需-。東日本大震災の被害の全体像と市場の動向を見通し、単なる復興にとどまらない“活力ある日本”再生の道を探る。     | 書庫    | 332 ヲ |  |

|   |              |                     |             |        |         |                                                                                                                                      |       |       |  |
|---|--------------|---------------------|-------------|--------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|--|
| 4 | これからを生きる君たちへ | 校長先生たちからの心揺さぶるメッセージ |             | 2011.4 | 新潮社     | 東日本大震災による惨禍を前に打ちひしがれ、被災地では多くの学校が卒業式の中止・延期を余儀なくされる中、この春門出を迎えた子どもたち、学生たちに、校長・学長から贈られたメッセージを紹介する。                                       | 一般・社会 | 374 コ |  |
| 3 | 災害がほんとうに襲った時 | 阪神淡路大震災50日間の記録      | 中井 久夫//[著]  | 2011.4 | みすず書房   | 東日本大震災発生後の今、何が必要なのか? 阪神淡路大震災の被災者でもある精神科医の、1995年1月17日から50日間の記録である表題作のほか、今回の震災に寄せた「東日本巨大災害のテレビをみつつ」を収録。                                | 書庫    | 369 ナ |  |
| 2 | 学校教育の危機管理    | 阪神・淡路大震災を体験して       | 東京教育研究所//編著 | 1996.4 | 東京教育研究所 | 阪神・淡路大震災の際に、危機に直面した学校園の体験をまとめた「学校教育の危機管理」の復刻版。平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興支援、今後の防災対策の一助となることを願う。                                         | 書庫    | 374 ト |  |
| 1 | 福島復興知学講義     |                     | 秋光 信佳[ほか]:編 | 2021.3 | 東京大学出版会 | 東日本大震災以降、東京大学の研究者たちが被災地に赴き、専門性に基づいた多様な復旧・復興活動に協力し行い、東京大学福島復興知学アライアンスが組織された。それを基にした講義を書籍化したもの。p169~171に「福島県新地町における環境エネルギーまちづくり」の掲載あり。 | 一般・社会 | 369 ア |  |